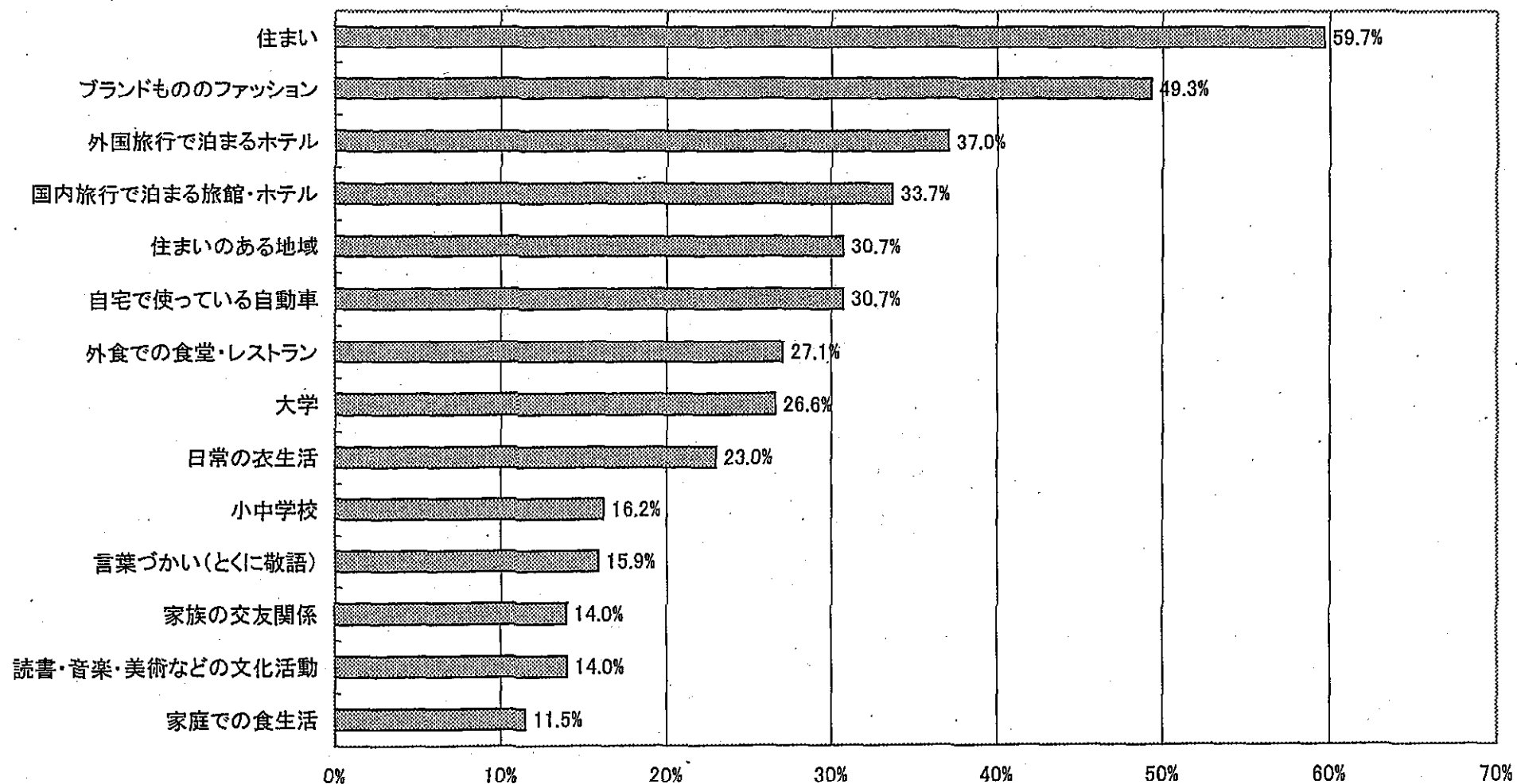


○生活分野ごとの「社会階層の差が大変ある」と思う率



*生活新聞(博報堂生活総合研究所、2003年)による。なお、調査は首都圏において実施。

○文化的階層グループ別の学習意欲・学習行動・学力

			家庭の文化的環境度			小学校			中学校		
						上位	中位	下位	上位	中位	下位
学習意欲	家庭での勉強の仕方	出された宿題はきちんとやる				93.2	90.5	82.2	71.7	67.2	55.9
		授業で習ったことについて自分で詳しく調べる				30.6	21.4	14.2	19.3	15.0	8.0
		嫌いな科目の勉強でも頑張る				74.1	69.4	54	55.2	45.7	34.0
		家の人に言われなくても自分から進んで勉強する				60.3	53.1	41.5	42.9	32.1	24.5
	受けた授業	教科書や黒板を使って先生が教えてくれる授業				83.2	76.9	67.7	83.5	79.3	71.0
		ドリルや小テストをする授業				57.9	48.1	35.6	47.6	39.4	31.1
		自分たちで調べる授業				57.6	43	32.6	52.9	45.3	32.1
		自分たちの考えを発表したり意見をいいう授業				59.1	43.9	38	41.6	29.1	24.1
	成績観	勉強はおもしろい				55.9	39.8	33.2	35.3	25.1	15.8
		成績が下がっても気にならない				41.2	44.5	50.4	23.9	27.2	35.7
		勉強は将来役に立つ				86.2	78.3	69.7	77.1	62.3	57.0
		人よりいい成績をとりたいと思う				69.4	65.6	64.7	81.4	77.5	63.8
学習行動	家庭学習	「しない」				11.8	16.9	19.9	31.4	42.9	57.5
	読書(漫画・雑誌を除く)	「しない」				31.2	44.2	59.9	43.1	60.7	67.9
	勉強日数(週あたり)	「ほぼ毎日」+「週4、5日」する				65.3	65	58.2	36.7	28.6	18.4
		「ほとんどしない」				11.5	16.6	27.0	26.9	38.6	56.8
	家庭での学習時間(平均時間)					51.2分	38.8分	35.3分	38.9分	27.3分	20.7分
	読書時間(平均時間)					40.2分	25.8分	19.9分	36.8分	24.5分	19.2分
	学校の宿題(家庭での勉強内容)	「しない」				0.9	1.5	3.9	21	31.6	41.7
	学校の復習(家庭での勉強内容)	「しない」				36.2	45.1	59.3	46.7	57.8	70.0
	学校の予習(家庭での勉強内容)	「しない」				51.2	59.1	68.5	64.8	69.8	81.1
	「先生が黒板に書いたことはしっかりノートにとる」(授業中の態度)	「とても」				47.4	42.4	32	70.6	63.6	52.1
		「まあ」				43.8	46.0	48.7	23.4	28.9	35.4
		「とても」+「まあ」の合計				91.2	88.4	80.7	94	92.5	87.5
	「授業でわからないことを後で先生に質問する」(授業への取り組み)	「とても」				13.5	8.3	8.3	14.1	9.9	6.6
		「まあ」				28.5	26.4	19.9	26.6	21.4	20.8
		「とても」+「まあ」の合計				42	34.7	28.2	40.7	31.3	27.4
	「テストで間違えた問題はしっかりとやり直す」(授業への取り組み)	「とても」				38.5	30.6	27.9	13.9	8.7	5.4
		「まあ」				35	35.6	34.7	31.1	26.1	18.6
		「とても」+「まあ」の合計				73.5	66.2	62.6	45	34.8	24.0
学習の成果	学力テスト(2教科合計得点の平均点)					147点	145点	132点	140点	134点	117点
	算数・数学のテスト(平均点)					75点	74点	67点	69点	65点	55点
	国語のテスト(平均点)					72点	71点	65点	71点	69点	62点

*調査報告『学力低下』の実態(刈谷ほか3名共著。岩波ブックレット)による。これによれば、上位、中位、下位とは、家庭の文化的環境を示す一次元的尺度を用いて、小中学生のそれぞれの調査対象者の数がほぼ3分の1ずつになるように構成した3つの文化的階層グループ。「学習意欲」の数値は「とても」又は「まあ」と答えた者の割合。平均時間と平均点以外の単位は%。

【 グローバル化 】

	昭和40(1965)年(度)	昭和55(1980)年(度)	平成2(1990)年(度)	平成14(2002)年(度)	備 考
貿易額(通関実績額)				(平成14年)	
輸 出	3兆426億円 【7】	29兆3,825億円 【71】	41兆4,569億円 【100】	52兆1,090億円 【126】	
【上位5品目】					
第 1 位	鉄鋼	自動車	自動車	自動車	
第 2 位	船舶	鉄鋼	事務用機器	半導体等電子部品	
第 3 位	金属製品	船舶	半導体等電子部品	事務用機器	
第 4 位	綿織物	科学光学機器	映像機器	自動車の部分品	
第 5 位	衣類	金属製品	鉄鋼	科学光学機器	
輸 入	2兆9,408億円 【9】	31兆9,953億円 【95】	33兆8,552億円 【100】	42兆2,275億円 【125】	
【上位5品目】					
第 1 位	原粗油	原粗油	原粗油	原粗油	
第 2 位	鉄鉱石	木材	繊維製品	事務用機器	
第 3 位	木材	石油製品	魚介類	衣類・同付属品	
第 4 位	綿花	非鉄金属	非鉄金属	半導体等電子部品	
第 5 位	羊毛	LNG	石油製品	魚介類	

* 貿易額: 貿易統計(財務省)による。なお、輸出入品上位5品目については、貿易統計輸出入ベスト10(財団法人日本関税協会)、貿易統計便覧(財団法人日本関税協会東京支部)により輸出入金額をもとに作成。(計数は暦年ベース)

○市場別輸出入額構成比

[輸出]

	1990	2002
アジア	31.9%	43.1%
中国	2.1%	9.6%
アジアNIEs	19.7%	22.7%
欧州	23.4%	15.7%
EC(EU)	18.7%	14.7%
北米	36.3%	30.3%
アメリカ	31.5%	28.5%
南米	1.1%	3.9%
中東	2.3%	2.7%
アフリカ	2.0%	1.2%
大洋州	3.1%	2.5%

[輸入]

	1990	2002
アジア	32.2%	43.5%
中国	5.1%	18.3%
アジアNIEs	11.1%	10.5%
欧州	19.9%	14.4%
EC(EU)	14.9%	13.0%
北米	27.1%	19.3%
アメリカ	22.3%	17.1%
南米	3.0%	2.8%
中東	9.8%	12.1%
アフリカ	1.7%	1.7%
大洋州	6.3%	4.9%

* 関税年報(財団法人日本関税協会)による。

	昭和40(1965)年(度)	昭和55(1980)年(度)	平成2(1990)年(度)	平成14(2002)年(度)	備 考
対外直接投資	-	-	83,527億円	44,175億円	
【地域別】					
北米	-	-	39,958億円(47.8%)	10,199億円(23.1%)	
欧州	-	-	20,975億円(25.1%)	18,304億円(41.4%)	
アジア	-	-	10,343億円(12.4%)	6,768億円(15.3%)	
中近東	-	-	39億円(0.0%)	45億円(0.1%)	
その他	-	-	12,212億円(14.6%)	8,859億円(20.1%)	
対内直接投資	-	-	4,046億円	21,863億円	
【地域別】					
北米	-	-	1,177億円(29.1%)	6,558億円(30.0%)	
欧州	-	-	1,973億円(48.8%)	7,076億円(32.4%)	
アジア	-	-	188億円(4.6%)	455億円(2.1%)	
中近東	-	-	3億円(0.1%)	1億円(0.0%)	
その他	-	-	705億円(17.4%)	7,773億円(35.6%)	
国際収支			(平成3年)		
サービス収支	-	-	△5兆6300億円	△5兆2,600億円	
所得収支	-	-	3兆5,000億円	8兆2,700億円	
特許使用料					
(日本⇒海外)	593億円 【7】	2720億円 【31】	8749億円 【100】	1兆3,797億円 【158】	
(海外⇒日本)	54億円 【2】	725億円 【20】	3592億円 【100】	1兆3,066億円 【364】	

* 対内外直接投資: 対外及び対内直接投資状況(財務省)による。(計数は年度ベース)

* 国際収支: 国際収支統計(日本銀行)による。(計数は暦年ベース)

* 特許使用料: 国際収支統計(日本銀行)による。(計数は暦年ベース)